

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M313H201	ゲノム再生医療学 (Genome and Regenerative Medicine)	融合人材育成科目 先進領域融合科目群

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	2	2	前期	木・1	田仲 和宏、猪股 雅史、小副川 敦、秦 聡孝、 大津 智、末延 聡一、波多野 豊、井原 健二、 河野 正典、織田 信弥、妻木 範行、中山 功一 内線：5872 E-mail：ktanaka@oita-u.ac.jp

【授業の概要・到達目標】

医療のパラダイム変化をもたらしつつあるゲノム医療、再生医療について、ゲノムに関する基礎的事項、再生医療に用いられる iPS 細胞などを含めた基礎的事項、各種疾患におけるゲノム医療に関する臨床的事項および再生医療について、最新のエビデンスに基づき学び、ゲノム医療と再生医療の全体像について理解する。

具体的な到達目標	ディプロマポリシーとの対応					
	1	2	3	4	5	6
1. がんゲノムの異常について述べるができる。	○					
2. 各種がんのゲノム医療の概要について述べるができる。	○					
3. 再生医療に用いられる技術について述べるができる。	○					
4. 各臓器の再生医療の概要について述べるができる。	○					

【授業の内容】

1	がんゲノム異常と治療 (田仲 和宏)
2	がんゲノム医療の臨床 (大津 智)
3	消化器がんのゲノム医療 (猪股 雅史)
4	肺がんのゲノム医療 (小副川 敦)
5	小児がんのゲノム医療 (後藤 洋徳)
6	骨軟部腫瘍のゲノム医療 (田仲 和宏)
7	臓器横断的ゲノム医療 (大津 智)
8	遺伝性疾患とゲノム医療 (井原 健二)
9	バイオバンクの構築とゲノム医療 (織田 信弥：九州がんセンター臨床研究センター)
10	iPS 細胞を用いた再生医療 (妻木 範行：大阪大学)
11	泌尿器科疾患の再生医療 (秦 聡孝)
12	皮膚疾患の再生医療 (波多野 豊)
13	神経・血管の再生医療 (中山 功一：佐賀大学再生医学研究センター)
14	再生医療としての移植治療 (河野正典)
15	総まとめと小テスト総括、症例検討、課題 (田仲 和宏)

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	小テストによる自己評価	
B：意見の表現・交換	○	レポート提出	
C：応用志向	○	症例検討によるチュートリアル	
D：知識の活用・創造			

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	配付資料や参考文献等の情報が必要に応じて予習する (40h)。
事後学修	授業での学習を活かし、小テストや配付資料を用いて復習する (20h)。

【教科書】

教科書は指定しない。
授業中に配付するプリント小冊子を使用する。

【参考書】

日本臨床腫瘍学会編「新臨床腫瘍学（改訂第6版）」南江堂、2021年、ISBN978-4524227396

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4
小テスト	10%	○	○	○	○
チュートリアル	10%	○	○	○	○
課題レポート	20%	○	○	○	○
定期試験	60%	○	○	○	○

【注意事項】**【備考】**

教員の実務経験の有無	○	
教員の実務経験		附属病院の医師
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	×	
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容		各種がんの基礎的、臨床的事項について、エビデンスおよび臨床経験に基づいて講義する。
授業形態		対面